

■資料①

<<認知症関連データ>>

2015年7月2日

毎日新聞東京本社特別報道グループ

銭場裕司

▼全国の身元不明者<2014年5月末時点 厚労省同9月発表>

346人	内訳	認知症	35人
		精神疾患（統合失調症、うつ病など）	79人
		記憶障害（記憶喪失、健忘）	60人
		脳血管障害（脳梗塞、脳出血など）	58人
		発達障害（精神発達遅滞、知的障害）	20人

35人<認知症身元不明者>の保護期間	5年以上~10年未満	8人
	10年以上	6人
	<最長は30年以上!>	

▼行方不明等に関する市区町村事業<2014年4月現在、厚労省同9月発表>

- ・見守りSOSネットワーク 616/1741市区町村 (35.4%)

「見守りSOSネットワーク」…普段から見守りながら、万が一、行方不明者が出た時は交通事業者（タクシー、バス、電車など）やコンビニ、郵便局、介護施設、新聞配達所などに当事者の情報を配信し、早期発見につなげるシステム。自治体や警察が活動の中核となる。最近では、当事者の顔写真や特徴を、アドレスを事前登録した市民にメールで一斉配信する取り組みが広がっている<福岡県大牟田市や北九州市など>。

▼認知症やその疑いのある人が行方不明になり警察に届け出られた人数

<警察庁データ、行方不明者届受理数など>

2012年	9607人
	(過去の届け出も含め2012年中に死亡確認 359人)
2013年	10322人
	(過去の届け出も含め2013年中に死亡確認 388人)
2014年	10783人
	(過去の届け出も含め2014年中に死亡確認 429人)

※2014年受理者<1万783人>のうち同年末までの未解決者(行方が分からないままの人)は168人

<以上>